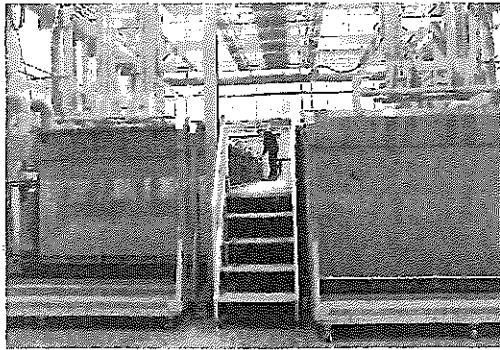


大型アルミ部材に対応

第一テクノス、新工場稼働

【山形】第一テクノ・42・1836

ス(山形県東根市、阿は、アルミニウム製の部政俊社長、0237 大型構造部材への表面



処理を強化す
るため新工場
を完成、26日
にアルマイト
処理ラインを
稼働する(写
真)。201
9年1月末に
はアルミ用の
無電解ニッケ
ルラインの稼
働を予定。ア
ルミ材へのメ
ッキ。

新工場(第3工場)

ツキ需要が増えつつあ
り、大型化ニーズに応
える。
は本社敷地内の第2工
場に隣接して設置し
た。平屋建てで床面積
は約1129平方尺。
新工場への総投資額は
約2億7000万円。
新設したアルマイト処
理ラインは、最大処理
寸法2500mm×15
00mm×400mm。
最大処理重量は500
kg。

一方、19年1月末稼
働予定のアルミ無電解
ニッケルラインは、同

社長」という。

第一テクノスは、こ
れまで鉄系大型部材へ

の上高は約3億5000

万円。

1900mm×800mm
×400mm。重量は
300kgまで対応す
る。アルミ材への無電
解ニッケルラインとし
ては、「現時点で東北
最大級になる」(阿部

の無電解ニッケル
キなど産業用機械の
型部材への対応に
入れてきた。今回、
要の拡大が見込め
ルミ材への対応を強
ずることにした。

同社の18年5月期